

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

平成29年9月28日発行

No. 8

文責：校長 野口 裕



全国学力・学習状況調査とNRT(標準学力検査) ～結果と分析～

本校では、毎年春に6年生が「全国学力・学習状況調査」(国語・算数)を、3年生～5年生が「NRT(標準学力検査)」(5年生は国語・算数、他の学年は算数)を実施し、子ども達一人ひとりの学力の定着状況の確認とともに、教職員の指導方法の改善に役立てています。個別の結果等については、すでにお知らせしてありますが、全体的な調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。

【全国平均との比較】

- 全国学力・学習状況調査では、国語A、Bともに同等の正答率、算数Aはやや下回りましたが、Bは上回りました。
- NRTでは、どの学年も全国平均を少し上回る結果になりました。

【学力調査からみられる本校児童の特徴】

- 国語Aでは、漢字の読み書きに未定着の課題がみられるものの、その他の問題は平均を上回るものが多く、基礎基本の力は概ね定着していると思われます。
- 国語Bでは、結果を見ると読む能力に関しては力がついてきていますが、目的に応じて文章の構成を考え、必要な内容を整理して書く力には課題があると思われます。
- 算数Aでは、量の比較や測定の部分ではやや上回っている部分もありましたが、大きく下回った計算の能力、図形などについての技能・知識・理解の定着に課題があると思われます。
- 算数Bでは、数量関係や目的に応じた資料の整理と表現などでは大きく上回った結果でしたが、情報の選択と数学的な表現では下回っています。全般的にはやや上回っている結果ですが、正答率の分布を見ると二こぶになっており、活用力に上位と下位の差があることが分かります。

- NRTでは、3年生の数と計算、量と測定、数量関係でやや下回る結果でしたが、その他の問題は平均を上回っていました。4年生は、全般的な数の計算が強みである反面、小数・分数の計算は全国平均を下回る結果でした。普段使い慣れておらず、小数・分数の意味をしっかりと理解できていないため定着していないと思われます。その他の量と測定、図形、数量関係は平均を上回っていました。5年生の算数では、全ての問題で全国平均を上回っていました。特に図形、数量関係、数と計算では大きく上回る結果でした。国語では、目的に応じて話すこと、ことわざについての理解は全国平均をやや下回ったものの、その他の問題では全国平均を上回っていました。

【児童質問紙からみられる本校児童の特徴】

- 「地域の行事に参加していますか」という質問では、「参加」・「どちらかといえば」と答えた児童が83ポイントと全国平均を20ポイントも上回りました。学校と地域が連携して教育活動をすすめたり、子ども達が地域で大切にされたりしていること表れであると思われます。一方で「地域のボランティアへの参加」は20ポイント下回る結果で、社会貢献活動の体験は不足しているようです。
- 「ニュースを見ますか」という質問では、「よく見る」・「時々見る」と答えた児童が91ポイントと全国平均を6ポイントも上回りました。また、「将来、留学や国際的な仕事に就きたいですか」という質問では、「そう思う」・「どちらかといえば」と答えた児童が43ポイントと全国平均を9ポイントも上回りました。見識を広めたり、世界に目を向けたりしている児童の割合が全国平均よりも高いことは本校の大きな強みといえます。
- 「自分によいところはあるか」という質問では、「ある」・「どちらかといえば」と答えた児童が64ポイントと全国平均を14ポイント下回りました。これは、自尊感情が低い傾向にあり、本校児童の自信のなさが表れています。
- 「総合的な学習での発表」は13ポイント、「学習活動での説明」と「国語科での話す活動」では17ポイント、それぞれ否定的な意見が全国平均を上回りました。このことから話す活動に苦手意識を持っている児童が多いことが分かります。また、「長文の文章を書く」は18ポイント、「考えを文章に書く」



は 16 ポイントそれぞれ否定的な意見が全国平均を上回りました。書く活動にも苦手意識があるようです。

- 「テレビを見る時間」は、1 日 3 時間以上見ている児童の割合が全国平均より 19 ポイント上回り、「ゲームする時間」は、1 日 3 時間以上している児童の割合が全国平均より 12 ポイント上回りました。家庭ではテレビやゲームに費やす時間が長く、家庭学習や読書をする時間が削られているようです。



【指導の工夫と授業改善】

学力調査の全国平均との比較、本校児童の特徴などこれらの分析結果を踏まえ、以下のように指導の工夫や、日常的な学習の強化に学校全体として取り組んでいきます。保護者の皆様にもゲームや携帯、スマホについてのルール作りなど、児童の生活リズムの定着に向けてのご協力をよろしくお願い致します。

- 国語の授業に限らず、文章を書く機会を増やし、長文を書く活動を学期に 1 回は設定し、長文への苦手意識をなくすよう工夫する。
- 「考えを持つ⇒小グループで話す⇒全体で話し合い、深める」という流れを意識し、自分の意見が言える主体的な児童を一人でも多く育てる。
- 「めあて」と「振り返り」を意識した授業の流れの徹底や、板書の工夫、ノート指導を充実させることにより、学習内容の定着を図る。
- 下学年の基礎・基本を家庭学習で復習させることにより、学習内容の定着を図る。
- 家庭学習の時間を増やすために、宿題の定着化、自分(自主)学習の推奨、ノートのよい見本の提示、励ましの言葉がけなどを粘り強く行う。
- 長期休業、業間の時間、放課後の時間等を利用した補充学習を行う。
- 保幼小中の連携や学年間の連携した取り組みを充実させ、段差のない教育の実現を目指す。

運動会 大成功！ ～心を一つに全力でやりとげた運動会～

先日の運動会では、保護者の皆様からのもちこみへの温かいご声援・ご支援をいただき、本当にありがとうございました。運動会の取り組みを全力でやりとげることができた子どもたちにとって、またひとつ大きく成長する機会となったことでしょう。

また、私自身、ドームを使用する運動会が初めてということもあり、不安でいっぱいでしたが、たくさんの方のご協力もあって、子ども達にとっても満足できる運動会になったのではないかと考えています。

最後に、運動会のスムーズな運営にご協力いただきましたPTA本部役員の皆様。皆様のご協力のおかげもありまして「心を一つに全力でやりとげた最高の運動会」にすることができました。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。



地域ぐるみで子どもの安全確保を！ ～地域のネットワークを～

安全・安心！



日中はまだまだ暑い時もありますが、日が陰ると半袖では寒く感じる日が多くなってきました。また、日没時間も早くなり、夕方 6 時にはあたりは暗くなってしまいます。子どもの登下校については、PTA を中心に見守りを行っていただいているところですが、学校へ届けられる安全への注意情報も、最近多くなってきているように感じます。子ども達の安全を確保するためにも更なるご協力よろしくお願い致します。

また、交通安全に関するだけでなく、不審者や害獣など防犯上の安全確保も子ども達を取り巻く状況を見ると、学校を含めた地域のネットワークが重要になってきています。学校・家庭・地域が互いに連携を深め、羽津地区の子ども達が健やかに成長できるよう、まずは情報の共有をお願いしたいと思います。地域の中で気になることや、危険な場所・状況があるようでしたら学校や警察などの関係機関にご連絡いただき、地域全体で子ども達を守るようご協力をお願いします。